

バルコニー用床化粧材

RIENA 施工手順
[リエナ]

2025.10改訂

この度は、セキスイのバルコニー用床化粧材「RIENA（リエナ）」の設置をご検討いただき、誠にありがとうございます。
こちらはタイルを設置するための手順の説明書となります。
ご自宅での施工前にご一読ください。

バルコニータイル 積算編

タイルの必要枚数の割り出し方

①バルコニーを採寸する

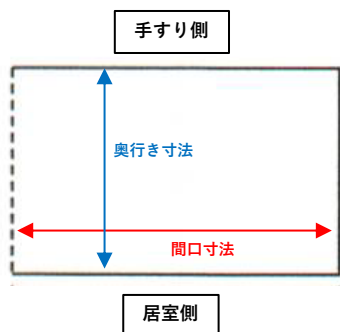
リエナの必要枚数を算出するために、メジャーで間口と奥行きの採寸を行います。

タイルの配置をしやすくするために
下記の採寸例を参考に「基準線（点線）」を設定してから、採寸してください。

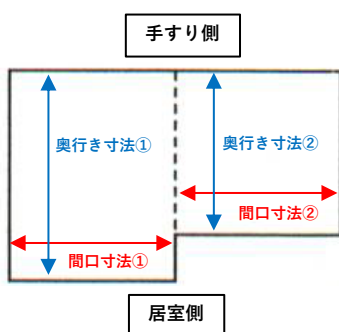
排水溝や雨戸の戸袋、雨桶の落とし口、柱など
障害物についても位置の確認と寸法測定を行います。



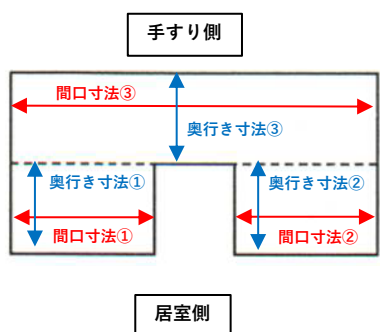
【採寸例1】



【採寸例2】



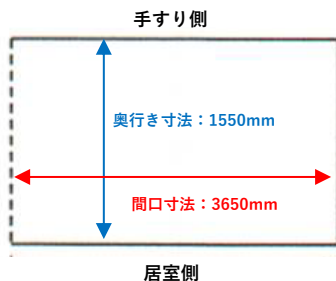
【採寸例3】



②タイルの枚数を算出する

間口と奥行き寸法の2辺からバルコニータイル（1枚は303×303mm）の必要枚数を算出してください。303mmより小さな端部や障害物のある部分は、リエナネット（1枚は303×303mm）ですき間を埋めて仕上げます。

◎タイルの必要枚数の調べ方



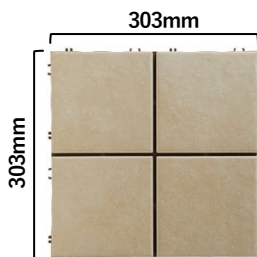
◎間口が3650mm、奥行きが1550mmの場合

間口… $3650\text{mm} \div 303\text{mm} = 12\text{枚}$

奥行き… $1550\text{mm} \div 303\text{mm} = 5\text{枚}$

必要なタイルは $12 \times 5 = 60\text{枚}$ となります。

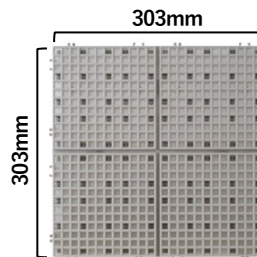
◎リエナ本体



[カラー展開]

- ・アイボリー
- ・ライトグレー
- ・ブルーグリーン
- ・ライトイエロー
- ・ライトブラウン

◎リエナネット（幅調整材）



[カラー展開]

- ・ニュートラルグレーライト
- ・イエローベージュ
- ・ストーンホワイト

リエナはどのカラーも 303×303mm で統一されています。

バルコニータイル 施工編

バルコニータイル施工の大まかな流れ

1. 必要な道具を準備しよう

2. 施工前にバルコニーを清掃

3. 仮置きで仕上がりをイメージ

4. タイルを連結していこう

5. 端部や障害物のまわりの納め方

6. 耐風対策について

7. 端部カバー材の納め方

8. 残材の清掃と点検

1. 必要な道具を準備しよう

施工の前に、以下の工具をご用意してください。

- ◎メジャー ◎ゴム手袋
- ◎大型カッター（ネジ固定式）
- ◎プラニッパー ◎定規
- ◎ゴムハンマー
- ◎カッターマット



2. 施工前にバルコニーを清掃

バルコニーの防水面の保護、
施工後のタイルの凹凸防止のため、
必ずバルコニー床面のゴミや
土埃などを取り除いてください。



3. 仮置きで仕上がりイメージ

連結する前に仮置きして、仕上がり
イメージしておくと失敗がありません。



4. タイルを連結していこう

仮置きで仕上がりのイメージができれば、
タイルを実際に連結していきます。



①設置のスタート地点と方向について

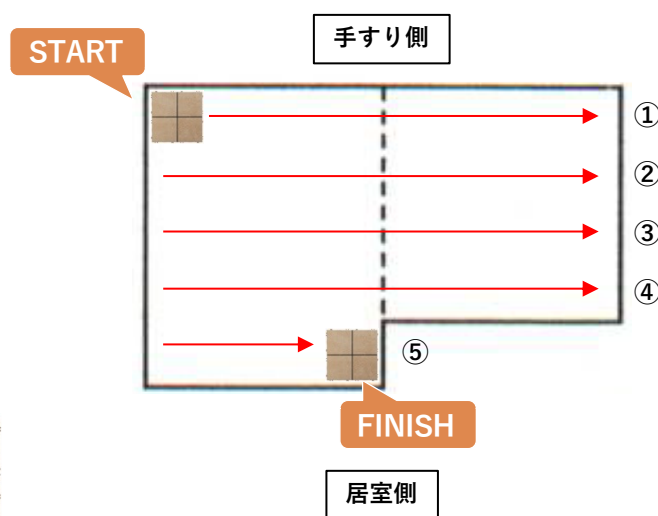
タイルを設置するスタート地点は、
図のように手すり側の出隅位置に
設定すると簡単に施工できます。

スタート地点のコーナーに沿って、
タイルの連結部が無い部分を合わせて、
同じ向きで手すりに沿って

①～⑤の順番で連結していきます。

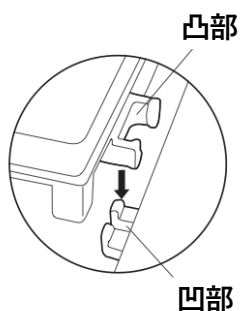


連結しながら進んでいく方向



②連結の仕方

タイルを連結する際は、凸部と凹部の連結部を
重ね合わせて、下方向に「パチン」と音がするまで
押し込んでください。



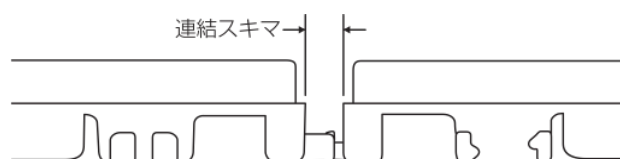
リエナはタイルの四辺どこからでも連結できる
上下連結構造なので、タイルの向きを気にせず、
凹凸どちらを押し込んでも施工できます。

③すき間の調整（熱伸縮対応）

■タイル同士のすき間

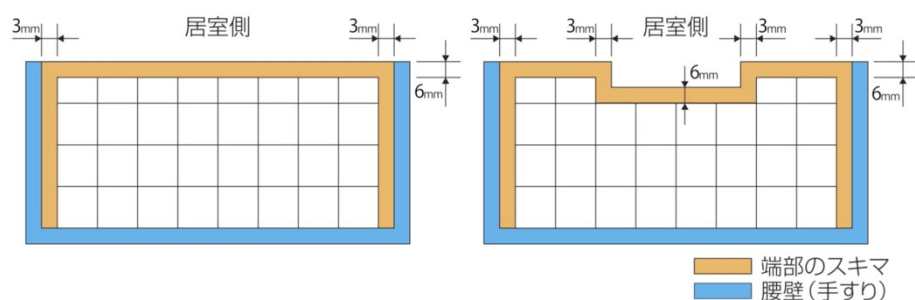
タイルを連結するときは、連結部を詰めすぎず、右図のようにすき間を開けるようにしてください。

すき間がないとプラスチックの枠が気温の変化で伸縮し、バルコニータイルが盛り上がる可能性があります。



■端部のすき間

バルコニーの周囲の端部には、下図のように大きめのすき間を開けてください。片側にすき間を取る場合に6mm、両側でとる場合は3mm必要です。



片側に周囲のスキマをとる場合 → 敷設方向1mあたり6mm

両側に周囲のスキマをとる場合 → 敷設方向1mあたり3mm

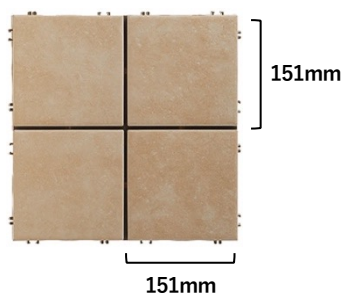
5. 端部や障害物まわりの納め方

端部のすき間や排水パイプ、避難ハッチなど障害物の周囲は、リエナネット（幅調整材）をすき間に合わせて切断してはめ込むと美しく仕上がります。

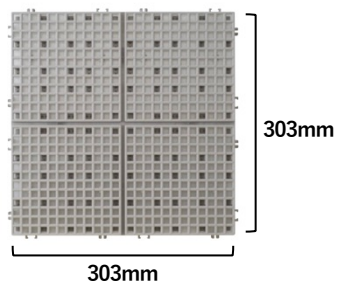


①端部の納めとリエナネット（幅調整材）の使い方

151mmを超える大きなすき間は、目地に沿ってカッターでタイルを半分に切断して納めます。



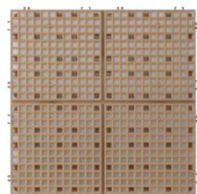
さらに余った小さなスキマはリエナネットをカッターやはさみで切断して、スキマを埋めてください。



◎リエナ（タイル）とリエナネット（幅調整材）の推奨組み合わせ



ニュートラルグレーライト [NGL]



イエローベージュ [YB]



ストーンホワイト [SW]



[IV] アイボリー



[LG] ライトグレー



[BG] ブルーグリーン



[LY] ライトイエロー



[LB] ライトブラウン



[本体 IV × 幅調整材 NGL]



[本体 LG × 幅調整材 NGL]



[本体 BG × 幅調整材 NGL]



[本体 LY × 幅調整材 YB]



[本体 LB × 幅調整材 YB]



[本体 IV × 幅調整材 SW]



[本体 LG × 幅調整材 SW]



[本体 BG × 幅調整材 SW]



[本体 LY × 幅調整材 SW]



[本体 LB × 幅調整材 SW]

5色のタイルに合わせて、3色いずれかのリエナネットを組み合わせます。右記の推奨組み合わせからお好みにあわせてお選びください。

②出っぱりや排水パイプの納め方

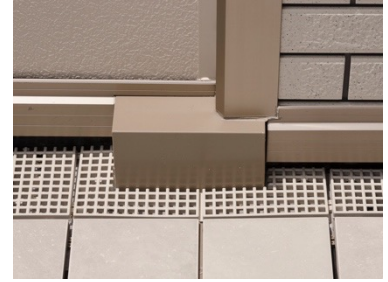
出っぱりや排水パイプのサイズに合わせてリエナネット（幅調整材）をカットすると、すみずみまで美しく仕上げることができます。



出っぱりや排水パイプの
周囲にスキマを開ける。



スキマの大きさに合わせて
切断した幅調整材を差し込む。

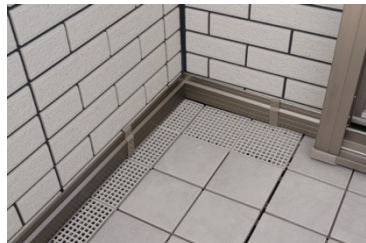


余分なスキマがなく
キレイに仕上がります。

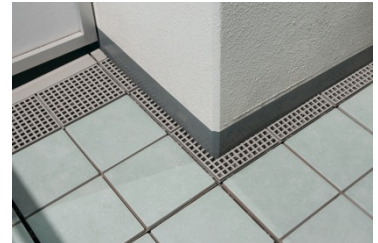
◎端部の納め方例



排水パイプのまわり



コーナー部（出隅）

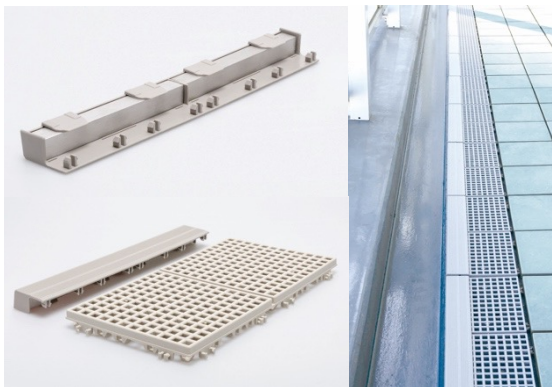


コーナー部（入隅）

6. 耐風対策について

リエナでは、強風によるバルコニータイルの飛散を防ぐ部材をご用意しています。
安全のため、以下の設置条件に合わせた、耐風施工をお願いいたします。

◎耐風部材施工



リエナネット＋耐風部材（おもり 錘入）を
併用した風飛び対策

◎端部カバー材施工



ブチルテープ留めの端部カバー材による
風飛び対策

■通常の矩形（長方形）バルコニーの場合

通常の腰壁やパネルで覆われた矩形バルコニーは、**1～10階**までは耐風施工は不要です。
11階以上の場合は、強風によるタイルの飛散を防ぐため、耐風部材（^{おもり} 錘入）または端部カバー材を設置してください。

◎通常の矩形バルコニー



■風の影響を受けやすいバルコニーの場合

風の通りやすい下記のような形状のバルコニーの場合、施工方法について当サイトのお問い合わせフォームからお問い合わせください。

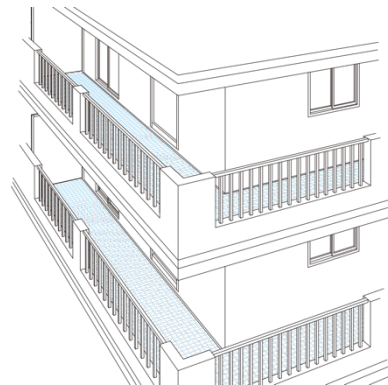
◎ルーフバルコニー



◎格子手すりのバルコニー



◎L字型バルコニー



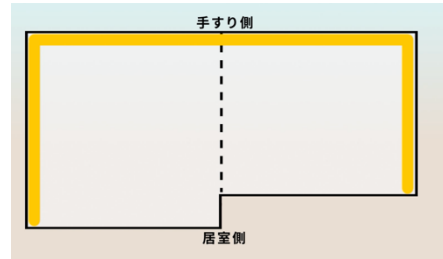
お問い合わせの際は、お住まいのバルコニーの図面や写真をお送りいただくと、より詳細なご提案が行えます。

7. 端部カバー材の納め方

- ①端部カバー材は、風の吹き込む手すり側と隣のお部屋との間にあるパーテーション側の3方向に設置します。
- ②端部カバー材のコーナー材（出隅材・入隅材）を仮設置し、必要な端部カバー材の寸法を確認します。
- ③寸法に合わせてカットした端部カバー材の裏面にあるブチルテープの剥離紙をはがしてタイルに差し込みます。
- ④端部カバー材同士を付属のジョイナーで固定します。



①



②



③



④



※クレガーレの写真で説明していますが、施工手順はRIENAも同じです。

8. 残材の清掃と点検

施工が終わったら、カットしたリエナネットなど、残材の片付けを行ってください。残材が残っていると排水口に詰まって、水が流れなくなる恐れがあります。

最後に、

- ◎しっかり連結できているか
- ◎目地は揃っているか
- ◎必要なすき間を取っているか
- ◎タイル表面に凹凸は無いか
- ◎避難ハッチはきちんと開閉するか

などをチェックしておきましょう。

